

各地区業況アンケート結果（28年1月調査分）

（28年1月20日）

全国鉄鋼販売業連合会

1月19日締切で、当会役員154名に対しこのアンケートを行ったところ63名の回答があり（回答率40.9%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 4割強の企業が前年同月比、売上数量減

問1】貴社の12月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	
売上数量/前年同月比	8	5	24	13	13	63	
比率	12%	8%	38%	21%	21%	DI-29	
売上金額/前年同月比	6	5	21	15	16	63	
比率	10%	8%	33%	24%	25%	DI-48	

2. 自動車以外はやや減少傾向

問2】貴社の営業窓口から見て1月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向	1	3	22	12	7	45	-47
民間建設向	1	5	23	13	9	51	-47
自動車向	1	3	19	6	1	30	-10
その他需要家向	1	5	28	15	6	55	-36
仲間取引	1	2	29	16	6	54	-44
計	5	18	121	62	29	235	-39
比率	2%	8%	52%	26%	12%		

3. 赤字は2割強

問3】貴社の12月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	
企業収益状況	10	23	16	7	7	63	
比率	16%	37%	25%	11%	11%	DI+35	

4. 好転の兆しなし、今後不透明

問4】貴社における向う2月から4月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	
短期需要動向予測	3	13	30	10	7	63	
比率	5%	21%	47%	16%	11%	DI -8	

5. 条鋼関係は若干在庫調整進むも板関係は過剰気味のまま

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種別	A	B	C	D	E		1月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-26	-43	-50	-52	-52	-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	鉄筋用丸鋼			17	7	1	25	-36
-19	-25	-19	-29	-31	-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	構造用丸鋼		1	20	7		28	-21
-12	-16	-19	-18	-19	-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	平角鋼		1	20	4		25	-12
-27	-32	-41	-30	-29	-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	H形鋼		3	20	6		29	-10
-32	-42	-37	-27	-19	-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	コラム			14	5		19	-26
-25	-31	-38	-30	-27	-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	小形山形鋼		1	25	5		31	-13
-29	-31	-38	-30	-33	-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	中形山形鋼		1	23	7		31	-19
-30	-34	-34	-24	-30	-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	溝形鋼			23	6	1	30	-27
-27	-33	-46	-33	-48	-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	軽量形鋼C形		1	17	5	1	24	-25
-31	-44	-40	-32	-32	-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	軽量形鋼広巾		1	8	5		14	-29
-48	-45	-57	-43	-58	-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	冷延薄板			11	9	1	21	-52
-39	-36	-70	-47	-50	-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	熱延薄板		1	19	9	1	30	-33
-35	-30	-97	-32	-55	-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	表面処理鋼板		1	13	10	1	25	-44
-30	-54	-63	-41	-60	-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	酸洗鋼板			11	11	1	23	-57
-37	-39	-55	-46	-42	-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	中板			21	10	1	32	-38
-29	-33	-44	-33	-29	-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	厚板			24	10		34	-29
0	-13	-22	-10	-16	-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	極厚板		1	12	4		17	-18
-19	-25	-32	-21	-19	-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	縞板			19	8		27	-30
-25	-34	-43	-42	-33	-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	中径角		1	19	9	1	30	-33
-8	-20	-21	-24	-21	-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	ガス管黒		2	21	6		29	-14
-23	-31	-25	-31	-32	-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	構造用鋼管			25	4	1	30	-20
-26	-33	-44	-32	-35	-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	計	0	15	382	147	10	554	-27

6. 年明け後も荷動き低調変わらず、春先まで辛抱

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道		北海道は季節的要因が明らかであり、1月は不需要期で荷動きは激減する。市況は暫く休眠状態が続くと思われる。
東北	A	相変わらず動きが悪いが、物件はまだまだある。今年の動向に注視していきたい。
	B	当地区は冬場に入り、更に荷動きが鈍化。前年同月比、売上数量が悪化している。春先（4月以降）に期待。
	C	東北日本海側で先週1月10日、太平洋側でも1月18日に降雪。異常に暖かったものが、この時期らしい気候となった。この先、季節的要因による販売量の減少が現実のものとなる。市況に底値感が出てこないこともあり、辛抱の時期となる。
	D	数量は増加したが、価格の下落によって売上は横ばいであった。以前ほどの活況感はない。一次加工は概ね順調だった。
新潟		季節的商品、建築の秋需はピークアウト。中国向け輸出、照明、変圧器の一部は好調だが、今後は減少傾向である。Hグレードファブは首都圏案件を主体に山積みは高いが、足元、工程ズレ等で停滞している。Mグレードファブは足元山積みを確認している。ただ、その先の地場案件が見えず、不安感を持っている。一般製造業者は業種によって濃淡がある。建築系は活気があるが、一般製缶系は先が見えない。市況は足元の需給環境から弱含みである。
東京	A	先の物件の話や見積り依頼はあるが、期待先行で実際、動き出していない様子。
	B	(素材) 11月が大底であった。12月から1月に入り、多少販売が戻ってきたが勢いはない。一部、高炉指定の問合せもあり、大型の建築物件もしくは耐震補強が始まるのではないかと。価格はジリ安。ユーザーは当用買いのため、特価であっても量は増えない。(切板) 少ないながら横ばい。相変わらず、ガス切りが少なく、自動車、工作機械の定盤、土木など様々だが、3月迄は増減なしとのこと。一方でセグメントも出始めているようだが、大手のみでこぼれるはずのプロパーの仕事はまだ来ない。
	C	オリンピックに向け、宿泊施設の物件が目立つと聞く。EG（亜鉛メッキ鋼板）、PO（酸洗鋼板）については輸入材の影響が尾を引いている状況。
	D	市況に大きな変化は見られない。まったりした状況が続いている。
	E	鉄筋の店売り、当用買いが浸透している。非常に細かく、経費倒れになっている。単価を下げることは出来ない。
静岡		2016年、良い話は聞こえてこない。夏場まで膠着状態が続く予想。下期に期待。在庫を減らしているため、買い繋ぎで利益がでない。利益度外視と思える商売が散見される。年度末まで続くのか思いやられる。全品種とも動きが悪い。
石川	A	今年は良きにつけ、悪しきにつけ波乱の多い年と推察している。心してかかりたい。
	B	公共土木が少ない。雪も積もらないので除雪作業もない。土木業者は現場に進むが仕事は減る一方。全国中堅大手ゼネコンの受注内容が悪い。特に準々大手の競争が激しい。(500億円以下の施工者) 鉄筋加工業界に隙間が出てきた。鉄骨業界は余裕ある経営をしている。
富山		建築物件の出件が減っている。ゼネコンも積極的に入札に参加し、多数の競合が復活している。当然、落札価格も下がっており、下請け、材料へのしわ寄せは必至。

愛知	A	自動車、建機、産機向けの需要が年明けに若干落ち込むと予想。そのため、他の仕事を行っているお客にも飛び火する傾向にある。1～3月は低迷、様子見になりそうな肌感覚がある。
	B	昨年からのグズグズした状況は変わっていないが、それほど悪いわけではない。相場が下がっているため状況を見ているからかもしれない。年度末に向けて動き出せば、相場も需要も上向く。期待外れにならないよう祈るばかりである。
	C	新型自動車の発売で、自動車向けの繁忙は見られるが、それ以外はあまり振るわない。自動車向けでも採算で苦しんでいるのが実態である。今年は当地区にある程度の仕事がありそうなので、早期、具体化が望まれる。
岐阜		年末の需要家の動きは、例年に比べ落ち着いている。年度末に向け、物件対応以外の小口も見込みなし。悪いとしか言えない。
大阪	A	公共工事は年度末を控え、多少の動きは出てきたが、例年に比べると動きはかなり悪い。戸建て住宅は力強さが感じられないものの、底堅い動きが続いている。
	B	先安感があるため、必要最小限の手配しかしない。春先までは辛抱が必要である。
広島		足元は地元自動車メーカーの試作、金型中心にバタバタしているが、建機、産機、工作機械、農業機械など機械関連の仕事の動きが鈍く、仕事のあるところとないところの差がはっきりしている。多くのユーザーは当面2～3月まで何とか仕事量を確保している。年度変わり4月以降は不透明感が強まっている。
福岡		12月は昨年同月より数字的には増加したが、例年のごとく年度末に向けての流れとは違うような感じがする。12月は一時的で道路関係、通信関係の仕事に勢いを感じない。1月から3月末に向け少し不安である。与信は大きな倒産もないが、注意しながら管理していきたい。
北九州	A	鉄骨工事、自動車向けの材料の引合いは増えてきている。今後も建築案件の受注及びファブの確保が課題。
	B	年末からの積み残しもあり、倉出しは順調である。物件や加工の引合いは低調だが、設備投資、建替え需要、観光施設に明るさが感じられ、期待は持てそう。価格を据え置いているメーカーが多い割に相場はジリ安だが、値下り玉の入荷で採算は多少、改善している。
	C	九州北部の需要動向はだらだらと横ばいのイメージ。販売価格はそこそこ踏ん張っている感じだが、ジリ安感否めない。与信については常に注視する。
	D	新年に入り先行き楽観的な話が多いが、目先の仕事量は減っているようである。年度末まで盛り上がりはないのか。